

4月1日から 下水道使用料を改定します

問い合わせ先 下水道部
管理課 ☎1411
番内線 560番、FA
X 25433番

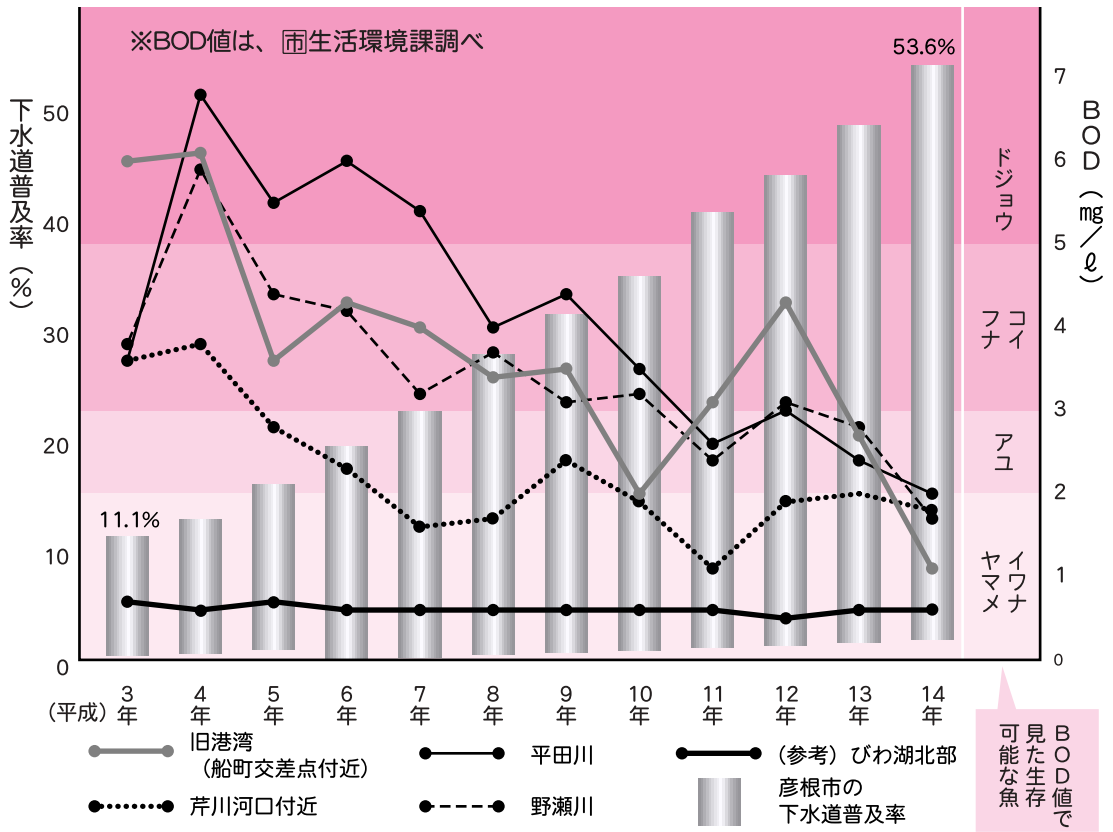
彦根市では、清潔で、快適な生活を実現するために欠かせない施設として、下水道の整備を推進し、多くの市民の皆さんに利用していただいています。
今回、下水道使用料の見直しを検討した結果、使用料の改定をすることになりました。改定の内容とその理由、下水道が果たしている役割などについてお知らせします。

下水道使用料の使い道は、大きく、「維持管理費」と「資本費」に分けられます。「維持管理費」とは、下水管、ポンプ場、処理場などの下水道施設の補修や清掃などにかかるお金です。また、「資本費」とは、下水道施設を整備したときの起債（借金）の返済に充てるお金です。これらの費用を賄うのが、下水道使用料です。しかし、すべてを使用料で賄っているわけではありません。

彦根市では、昭和57年度に下水道整備事業を始めました。建設初期は使用者が少ないので、高額の使用料を求めると、水洗化への意欲を妨げ、下水道普及が進まなくなるといふ心配がありました。そのため、本来、使用者が負担すべき費用の一部を市の一般会計で負担することにし、使用料を低く抑えることにしました。その後、現在まで物価の上昇などの要因がありましたが、下水道の普及促進

知ってください 下水道のはたらき 市内の川の水質が改善されました

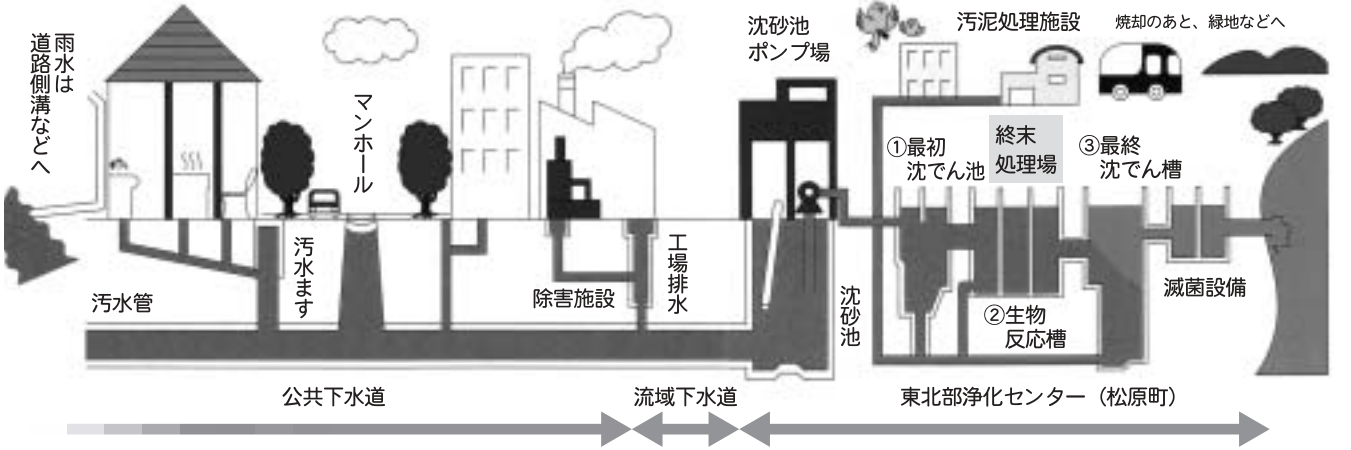
下水道は、私たちの暮らしを健康で住みやすく、快適にする施設です。また、海や湖、河川などの水質の保全にも不可欠です。
滋賀県では、昭和30年代後半から、高度経済成長に伴って、びわ湖や河川などの水質が悪化するようになりました。そのため、県が中心になって流域下水道の整備をすることになり、彦根市でも平成3年に公共下水道の供用を開始しました。彦根市内を流れる河川のBOD（ mg/l ）は、平成3年以降、下水道の普及が進むに従って減少しています。これは、公共下水道が水質の改善に役立っていると言えるでしょう。
※BOD（生物化学的酸素要求量） 水中の有機物が微生物によって分解される時に必要な酸素の量。河川の水の汚れの指標に使われ、少ないほど水がきれいだと判断される。



こうなっています 下水処理のしくみ

道路などに埋められている下水道の管は、家庭の水洗便所や台所、ふるなどの排水と、工場の事業所から出る排水を浄化センターへと運んでいきます。
浄化センターでは、微生物が下水中の汚れを分解し、処理されたうわ

水と、下水の分解中に増殖した微生物の沈でん物に分離します。処理されたうわ水は、適度な水質が保たれているか検査された後に放流され、沈でん物は濃縮・脱水の後、適正に処分されます。



主な使用料改定内容

- 資本費回収率 20% → 30%
資本費回収率は、施設整備に要した費用のうち、使用料で賄う率をいいます。
- 排水量別単価（1か月分、）

一般排水	基本料金	現行		改訂後	
		10m ³ まで	1,160円	10m ³ を超え30m ³ まで	128円
超過料金	1m ³ 当たり	30m ³ を超え50m ³ まで	138円	150円	
		50m ³ を超え100m ³ まで	148円	160円	
		100m ³ を超える分	158円	170円	
		特定排水	750m ³ を超える分	205円	227円

※この表は1か月分の排水量別単価です。実際は、2か月分をまとめて徴収します。

家計への影響は…
2か月で、50m³（3～4人家族の平均的な使用量）使用したときの上下水道料金

	現行	改正後
上水道料金*	6,190円	6,195円
下水道使用料	6,460円	7,098円
合計	12,650円	13,293円

※メータ口径13mmの場合

下水道使用料平均改定率 … 9.8%

消費税の端数処理について
水道料金、下水道使用料、農業集落排水処理施設使用料の消費税の端数処理が、4月から、1円未満切り捨てに変わります。

その結果、昨年3月末には、彦根市下水道の起債残高は467億円、平成14年度中の起債償還額（借金の返済額）は25億8千万円に対し、使用料収入は7億3千6百万円、一般会計の負担は20億3千7百万円になっていました。
今後は、滋賀県東北部浄化センター（松原町）の排水処理費用など、下水道の機能を維持するための費用が増大していくことが見込まれます。
起債の償還や、維持費などを一般会計

の負担を増やすことで賄うと、本来一般会計ですべき市民サービスに影響が出ます。また、下水道が整備されていない地域に住む市民の皆さんにも負担してもらうことになるので、不公平感が深まるという問題も生じてきます。
昨年、下水道普及率の向上に併せ、起債残高と一般会計からの繰入額の現状を踏まえて、使用料について見直しをしました。その結果、やむを得ず下水道使用料の改定を行うことになりました。
非常に厳しい社会情勢のなかで、公共下水道を使用する皆さんに負担をお願いすることになりますが、健全な下水道経営を図るため、今回の改定の必要性についてご理解いただきますようお願いいたします。